

# 2023(令和5)年度事業報告

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

## I. 2023(令和5)年度事業活動の概要

### ① 授賞式

2023(令和5)年度(第12期)事業年度は、令和5年4月の受賞者発表(HP上)に続き、第11回授賞式を4年ぶりに駐日フランス大使公邸にて開催しました。

### ② 論文募集告知活動

財団活動紹介及び募集告知を更に強化し、募集案内を大学医学部、大学医学部呼吸器科等、がんセンター、がんセンター呼吸器他、がん拠点病院、疫学他の合計約1,000カ所に送付しました。

### ③ 論文応募状況及び審査

7月～9月の募集期間を経て、10月から一次選考、年明けから二次選考を行い、3月下旬に第12回受賞者を決定しました。2023(令和5)年度の実応募総数は16篇となりました。

※過去の論文応募状況：2012年16篇、2013年8篇、2014年18篇、2015年25篇、2016年16篇、2017年19篇、2018年23篇、2019年25篇、2020年35篇、2021年27篇、2022年19篇

## II. 第12回(2023年度)後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞受賞者(特別賞なし)

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」

田中謙太郎 Kentaro TANAKA (MD., Ph.D.)

九州大学大学院 医学研究院 臨床医学部門 呼吸器内科学分野 准教授

(2024/4/1 現在、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学 准教授)

【該当論文】

進行非小細胞肺癌患者に対するベザフィブラートとニボルマブの併用療法  
Combination bezafibrate and nivolumab treatment of patients with advanced non-small cell lung cancer (Science Translational Medicine 2022;14(675):eabq0021)

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」

庄司文裕 Shoji FUMIHIRO (MD., Ph.D.)

国立病院機構 九州がんセンター・呼吸器腫瘍科 医長

【該当論文】

非小細胞肺癌における癌免疫療法奏功症例の腸内細菌叢多様性と特定菌種の同定

Gut microbiota diversity and specific composition during immunotherapy in responders with non-small cell lung cancer (Frontiers in Molecular Bioscience 2022, 9:1040424)

### Ⅲ. 理事会・評議員会の開催状況

第 47 回 定時理事会 2023(令和 5) 年 5 月 23 日(火)

- 決議事項 (1)2022 (令和 4) 年度事業報告書及び決算書承認の件  
(2) 関係規程の新規制定及び一部改正承認の件  
①論文顕彰事業に関する規程 (制定)  
②諮問委員会規則 (一部改正)  
③応募論文または受賞論文に不正があった場合の取扱規程(制定)  
④謝金支払いに関する規程 (一部改正)  
(3)第 23 回定時評議員会開催承認の件

第 23 回 定時評議員会 2023(令和 5)年 6 月 8 日 (木)

- 決議事項 (1)2022(令和 4)年度事業報告及び決算書承認の件  
(2)任期満了に伴う評議員選任の件

第 48 回 定時理事会 2024(令和 6)年 3 月 11 日(月)

- 決議事項 (1)2024 (令和 6) 年度事業計画書及び収支予算書承認の件  
(2)2023 (令和 5) 年度科学賞最終選考結果 (受賞対象者及び金額) 承認の件

以上

## 2023(令和5)年度 事業報告 附属明細書

2023（令和5）年度事業報告の附属明細書は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会